災害から身を守るために

「平成30年7月豪雨」は、西日本各地に甚大な被害と爪痕を残しました。こうした災害から身を守るためには、日頃から市民一人一人が防災の意識を高く持つことが大切であり、いざというときの避難方法などの対策を考えておく必要があります。

問 消防防災課防災企画係　☎575-1197

大雨の場合

大雨になるおそれ 雨が降り出す

気象情報・空の変化に注意する

ポイント **防災マップで確認する**

・周りより低い場所など、危険箇所を把握する
・避難場所や避難ルートを確かめておく

防災マップ
ダウンロード

注意報

最新の情報に注意して、災害に備えて早めの準備をする
雨や風の影響を受けやすい地区や避難困難者は早めの行動を！

・非常用品や持ち出し品を確認する
・窓や雨戸など、家の外を点検する

警報

市が発表する**避難に関する情報（避難準備・高齢者等避難開始や避難勧告）**に注意し、必要に応じ速やかに避難する

ポイント
特別警報が発表されていなくても早め早めに行動する

防災行政無線や市ホームページ・SNS、車両広報などで情報を周知します

特別警報

非常事態　ただちに命を守る行動をとる
市からの**避難指示**に従い、ただちに避難所に避難する
外出が危険なときは、家の中で少しでも安全な場所（2階など）に移動する

ポイント **冷静に判断し、周囲の状況に応じた行動をとる**

住居の位置や構造、すでに浸水が生じている状態か否かによって、自宅外避難の必要性は異なります。状況を冷静に判断し、災害から命を守る行動をとりましょう。

「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。普段から避難場所や避難ルートを確認しておきましょう。

暴風や浸水の中の移動は大変危険です